

やさしさと活力で協働のまちづくり



市長 守 正 茂
高山市 土野

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年、7月に待望の東海北陸自動車道が全線開通し、利便性や安全性が大き

く向上しました。当市にとつて大変重要な高速交通網であり、大いに活かしてまいりたいと考えています。

当市の行財政運営については、行政改革を積極的に進め行政コストの削減に努める一方、厳しさを増す地域経済を立て直すための緊急景気対策をはじめ、少子・高齢化への対応、防災体制の強化、地球温暖化対策、教育環境の整備と安全対策などを重点として、市民福

祉の向上と一体感のある魅力あふれる地域づくりに取り組んでまいりました。今年の夏には、高山駅の東西を結ぶJRアンダーパス工事が完成する予定です。こうした市街地の道路網整備とともに中部縦貫自動車道の整備促進の要望など必要な道路整備を推進するほか、通年型・滞在型の観光地づくりや都市農村交流の促進、企業立地環境の整備など地域経済の活性化にさ

らに力強く積極的に取り組んでまいります。

一方、分権型社会の構築を目指し、自立した自治体としての行財政運営を確立するためには、さまざまな改革も必要です。新たな行政改革大綱を策定し、職員数の純減や指定管理者制度の活用、組織の見直しなどを推し進めてまいります。

本年度市町村合併から5年目を迎えますが、合併後のまちづくりの指針である

第七次総合計画の後期計画を策定し、将来都市像である「やさしさと活力にあふれるまち飛騨高山」を目指して、市民の皆様と協働して各種施策を確実に実施してまいりますと考えています。

国内外の経済の先行きは不透明な状況ですが、誰もが住みよさを実感し、安全で、安心して快適に暮らすことのできるユニバーサルデザインの視点に立ったバリアフリーのまちづくりを進めてまいります。皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

生きがいと活力に満ちた良い年に



議長 新一 新
高山市 本木

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、自然災害は少な

かったものの、政治経済は激動し、特に米国発の金融危機は世界経済を震撼させました。高山市においても、市民生活に不安が広がりましたが、市では積極的な景気対策に取り組み、年間3回にわたり議会でも総額17億円余の補正予算を議決したところであります。

こうした中、昨年は待望の東海北陸自動車道が全線開通し、飛騨地方に本格的

な交通新時代が到来しました。また、金子代議士が国土交通大臣に就任されるとともに、国交省の外局に観光庁が誕生したことは、国際観光都市「飛騨高山」がさらに飛躍する好機になるものと期待を寄せております。

本年は、市内5ヶ所の「合併記念公園」や旧パークボウル跡地に眺望の良い公園が完成し、皆様の憩いの場が広がります。そして、夏

には高山駅周辺のJRアンダーパスが通行できる予定で、それに繋がる都市計画道路の改良も進みます。こうした大型プロジェクトが順調に進むとともに、地域福祉をはじめ産業や教育など各分野において、皆様のご努力で市民協働のまちづくりが推進され、地域力が高まっていることを大変力強く思っております。

一方、平成21年度は高山

市第七次総合計画の前期基本計画が終了し、将来にわたつて安定した市政運営を進めるために、その見直しを行う重要な年度でもあります。

議会としても、広い市域全体に目を配って市政の諸課題に全力で取り組み、議員一丸となって努力を重ねる所存でありますので、皆様のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。迎えた新年が、皆様にとつて幸せで実り多く、生きがいと活力に満ちた年となりますことを衷心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。